



令和6年 3月定例会一般質問の質問と答弁の要旨

本定例会は、能登半島地震で亡くなられた方、被害に遭われた全ての方々に対して、追悼の意を表すため、全議員と執行部職員の方々と黙とうを捧げ開会されました。

避難所運営に女性の配置を!

東日本大震災の時も今回もマスコミなどで、ほとんど報道されない避難所等で女性の性被害があるということ。避難所等では、女性特有の課題に対して相談しにくい状況があります。女性スタッフの配置についてどのように考えているのか



答弁：女性が運営に加わることで、より広く細やかなサポートが行えるものと考えますので、自主防災組織も含め女性を配置した体制の整備に努めます。

災害ボランティア派遣を!

東日本大震災の時には、私が議員とさせていただきすぐの議会で訴え実現となった、福島県南相馬市小高区へ、災害ボランティアバス運行事業を4年間実施いただきました。大規模災害の時は特例で市民ボランティアを派遣する支援制度ができないか

答弁：東日本大震災復興支援ボランティアバス運行は平成26年から社会福祉協議会との共催で4年間で合計95人の市民と職員が参加しました。

ボランティア活動を体験することは、被災地の支援とボランティア意識の醸成にとっても意義の高いものと認識しております。支援制度について、他市の事例や社会福祉協議会と情報を共有し調査研究をしてまいりたい。



それぞれのツールで投稿しています～

ぜひ!登録を!

ホームページ



X (Twitter)



Facebook



LINE



instagram



市民相談はお気軽に!

090-6545-3849

プロフィール: 現職 4期 福島県出身 58歳 建設常任委員会、議会運営委員会委員長